

World Robot Summitについて

2019年6月

経済産業省

国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構

- World Robot Summit（総称：WRS）は、人間とロボットが共生し協働する世界の実現を念頭に、世界のロボットの叡智を集めて開催する競演会。
- ロボットの競技会「World Robot Challenge」と、最新のロボット技術を展示する「World Robot Expo」からなる。
- 世界中のロボット関係者が一堂に集まり、リアルな日々の生活、社会、産業分野でのロボットの社会実装と研究開発を加速させることを目的とする。

● 目的

リアルな日々の生活、社会、
産業分野でのロボットの社会実装

研究開発の加速

人間とロボットが共生し、
協働する世界の実現

● アプローチ

競技会（World Robot Challenge）と展示（World Robot Expo）のコンビネーションを通じて、世界のロボットの叡智を集結させ競演することにより、

人々のロボットへの意識、
興味/期待、理解を喚起する。

科学者や技術者間で
研究開発を促進する。

人々と産業/研究との
橋渡しをする。

● 展示/競技項目

ロボットの物理的
および知的機能

リアルな
日々の生活、社会、産業分野への
ロボットの实装

ロボットの身近さ/社会的受容



競技会 : World Robot Challenge (WRC)



ものづくりカテゴリー : Industrial Robotics Category
サービスカテゴリー : Service Robotics Category
インフラ・災害対応カテゴリー : Disaster Robotics Category
ジュニアカテゴリー : Junior Category

大学生、研究機関、企業等のチーム戦、
ジュニアは19歳以下対象。



展示会 : World Robot Expo (WRE)



協賛企業が出展、
展示を行う出展エリア。
ロボット導入の事例を世界発信するものとします。

競技参加団体、協賛企業などの独自ブースの他に、
国が主導する最新のロボット関連展示を行う予定。

シンポジウム / ワークショップ・プログラム

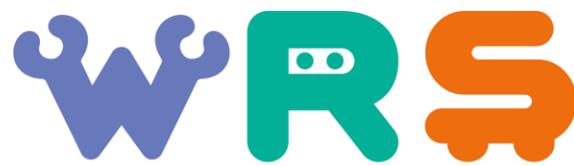


世界各国の有識者や関係者による国際フォーラムや
協賛企業によるプレゼンテーション、ワークショップや
体験型工作教室などの実施を検討。

サイドイベント・プログラム



会場内、屋外などで実施するサイドイベント。
参加型、体験型のイベントを検討。



World Robot Summit

World Robot Summit 2018 TOKYO

@東京ビッグサイト
10/17-10/21

World Robot Summit 2020 AICHI/FUKUSHIMA

@愛知県国際展示場
/福島ロボットテストフィールド
8/20-22・10/8-11



【同時開催】
Japan Robot Week 2018
@東京ビッグサイト
10/17-10/21

【トライアルおよびPR】
2019国際ロボット展
@東京ビッグサイト
12/18-12/21

【同時開催】
あいちロボカップAP2020
Japan Robot Week 2020

**World Robot Summit 2018
TOKYO**

名称 World Robot Summit 2018 (ブレ大会)

会場 東京ビッグサイト 東 7/8ホール

期間 2018年10月17日(水)～21日(日)
※Japan Robot Week 2018 と同時開催

総来場者数 : 76,374人(4日間)

主催 経済産業省 / 新エネルギー・産業技術総合開発機構 (NEDO)

**World Robot Summit 2020
AICHI/FUKUSHIMA**

名称 World Robot Summit 2020 (本大会)

会場 愛知県国際展示場

※うち、インフラ・災害対応カテゴリーの競技
: 福島ロボットテストフィールド
2020年 8/20(木)～22(土)

期間 2020年 10/8(木)～10/11(日)
※あいちロボカップAP2020
Japan Robot Week 2020 と同時開催

主催 経済産業省 / 新エネルギー・産業技術総合開発機構 (NEDO)

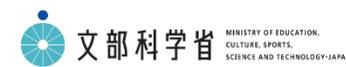
World Robot Summit2018 開催結果

期間	10月17日- 10月21日
場所	東京ビッグサイト 東6、7、8ホール
WRC 競技者	23か国・地域、126チーム
WRE 出展者	94社・団体
来場者数	76,374名

【主催】



【後援】



【協力団体】



IROS 2018



日本ロボット学会



人工知能学会



日本機械学会



SICE



ロボカップ

World Robot Summit2018 競技結果



World Robot Summit

		1位	2位	3位	
ものづくり カテゴリー	製品組立チャレンジ	SDU Robotics (University of Southern Denmark)	JAKS (Kanazawa UNIV.)	FA.COM Robotics (office FA.com Co.,Ltd.)	
サービス カテゴリー	パートナーロボットチャレンジ (リアルスペース)	Hibikino-Musashi@Home (Kyushu Institute of Technology)	OIT Challenger and Duckers (Osaka Institute of Technology)	AISL-TUT (Tooyohashi University of Technology)	
	パートナーロボットチャレンジ (バーチャルスペース)	NICT (National Institute of Information and Communications Technology)	SOBITS (Soka UNIV.)	eR@sers (Okayama Prefectural UNIV)	
	フューチャー コンビニエンスストア チャレンジ	接客	NAIST-RITS-Panasonic (Nara Institute of Science and Technology)	TCR (Connected Robotics Inc)	homer@UniKoblenz (University of Koblenz)
		清掃	TCR (Connected Robotics Inc)	TAK (Tokyo Metropolitan University)	H3 (Human Robot Analysis Inc.)
		陳列	U.T.T. (TOSHIBA Corp.)	ROC2 (OMRON.corp)	Hi-KCCT (Hitachi, Ltd. Reserch & Development Group)
総合		U.T.T. (TOSHIBA Corp.)			
インフラ・ 災害対応 カテゴリー	プラント災害予防チャレンジ	Hector Darmstadt (Technische Universitaet Darmstadt)	Raptors (Lodz University of Technology Institute of Automatic Control)	AiSaFu (Sanritz Automation Co.,Ltd.)	
	トンネル事故災害対応・復旧チャレンジ	REL/UoA (University of Aizu)	MASARU Season 2 (Private)	ODENS (Osaka Ele.-Comm. Univ.)	
	災害対応標準性能評価チャレンジ	SHINOBI (Kyoto UNIV.)	Telerob (Telerob GmbH)	AutonOHM (Technische Hochschule Nuremberg)	
ジュニア カテゴリー	スクールロボットチャレンジ	I want to eat RAMEN! (Ibaraki Prefectural Takezono Highschool)	SMILE (Niimi Daiichi Junior High School)	DSTY (German School Tokyo Yokohama)	
	ホームロボットチャレンジ	Tamagawa Academy Science Club (Tamagawa Academy)	Sinag (Caritas Don Bosco School)	Robo Power (Tokyo Metropolitan College of Industrial Technology)	

競技会 (World Robot Challenge 2020)

- 4カテゴリーの競技を実施。
- 競技者は、WRSのウェブサイト(<http://worldrobotsummit.org/>) で募集。
- 参加のエントリー期間は、8月31日まで。エントリーしたチームは、9月6日までに応募資料を提出。
 (ジュニアカテゴリーを除く。ジュニアカテゴリーの競技者募集は、学校の夏季休業期間も考慮して、別途募集期間等詳細を公表予定。)
- 尚、WRSの趣旨に賛同いただいたスポンサー企業からの協力を得て、賞金等（賞金総額は1億円以上を予定）のほか、競技会に参加する一部のチームに対して渡航費等の一部を支援。

カテゴリー	種目	実施場所	競技内容
ものづくり	製品組立 チャレンジ		ベルトで駆動する機械部品の組み立て等の正確性・スピード等を競う。
サービス	パートナーロボットチャレンジ (家庭内の各種作業支援チャレンジ) リアルスペースリーグ	愛知県国際展示場	家庭内における部屋の片付けやモノを取ってくる等の各種作業の正確性・スピード等を競う。
	フューチャーコンビニエンスストアチャレンジ (店舗における各種業務支援チャレンジ)		コンビニ店舗における商品の陳列・廃棄、接客、清掃等の各種作業の正確性・スピード等を競う。
インフラ・ 災害対応	プラント災害予防チャレンジ	福島ロボット テストフィールド	プラントにおける日常点検（バルブの視認等）、異常検知（異常音・振動の検知等）、設備の健全性診断等の正確性・スピード等を競う。
	トンネル事故災害対応・復旧チャレンジ		トンネル内での災害環境下における障害物の走破、車両内調査・救助等を課題達成状況・スピード等をシミュレーション、実機で競う。
	災害対応標準性能評価チャレンジ		災害予防・対応で必要となる基本動作（移動能力、センシング能力、耐久性等）の正確性・スピード等を競う。
ジュニア	別途公表予定。		